

TOTO

ロータンク金具

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	⊘ は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。
	ⓘ は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

表示	意味
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

⚠ 注意

	強い力や衝撃を与えない 陶器が破損してけがをしたり、水漏れのため家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
	修理技術者以外の方は、金具本体内部を分解しない 故障や水漏れの原因になります。
	フィルターの掃除をする際は、いきなりフィルターをゆるめず、止水栓を閉めてから行う 水が噴き出して、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
必ず実行	設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する 故障や水漏れの原因になります。

2 仕様

給水圧力	最低必要水圧	0.05MPa(流動時)
	最高水圧	0.75MPa(静止時)
使用最高温度		40℃以下
使用可能水質		水道水および飲用可能な井戸水
使用環境温度		1~40℃
用途		病院・その他

3 取り付け前に

給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2MPa程度に減圧してください。
快適にお使いいただくためには、0.2MPa程度の圧力をおすすめします。

4

同梱部品の確認

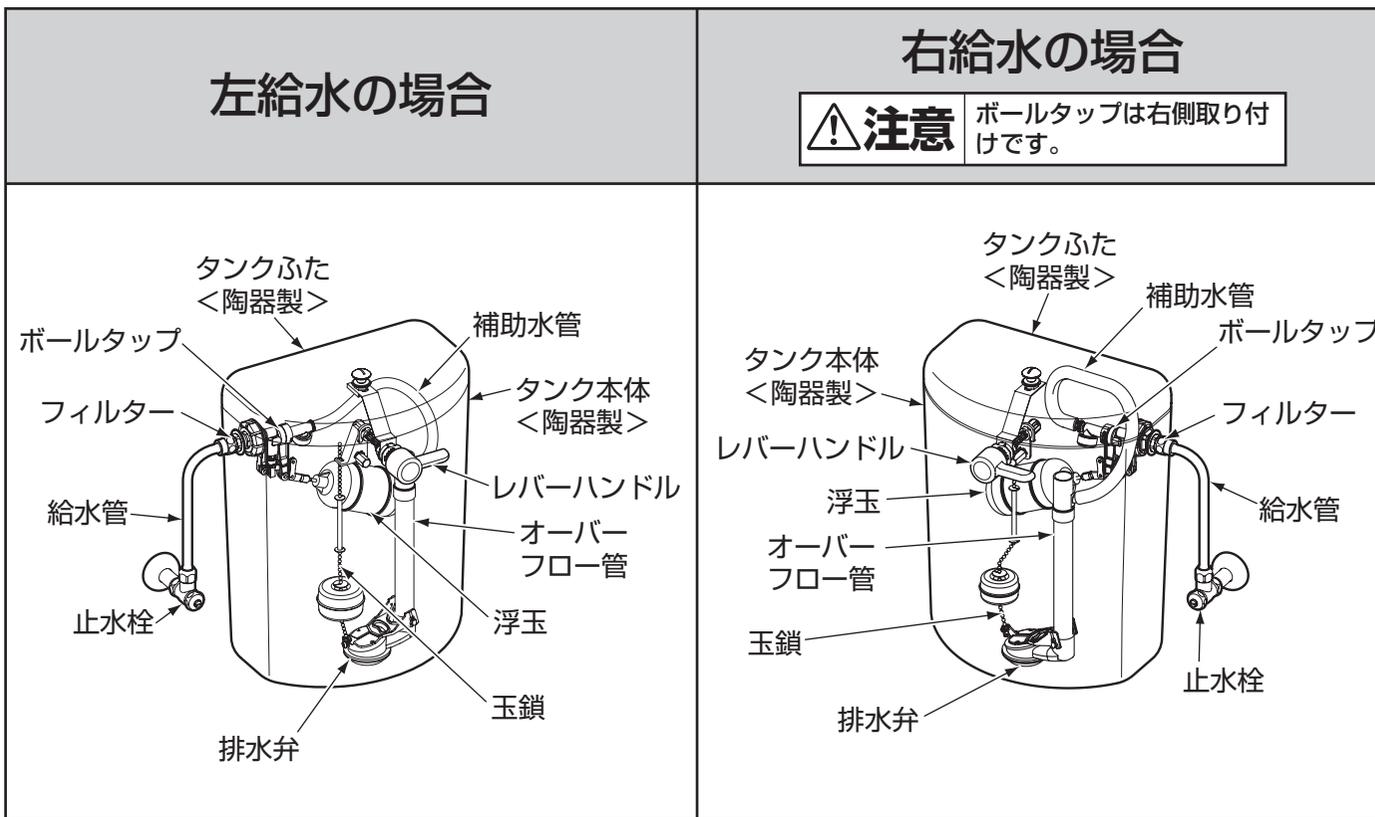
※品番によっては図と現品の形状が一部異なります。

名称	個数	略 図
タンク取付木ねじ	1 セット	
ふた固定金具	1 セット	
レバーハンドル部	1 セット	
洗浄管 (38mm)	1本	
ボールタップ	1 セット	
排水弁	1 セット	 TS300CC1の補修品(取り替え用) は排水弁のみの箱入りとなります。
止水栓	1 セット	 ※図は壁給水タイプです。
スパッド	1 セット	
取扱説明書	1冊	
施工説明書	2枚	本紙含む

5

完成図

<TS300SG1>



6-1 施工手順

※品番によっては図と現品の形状が一部異なります。

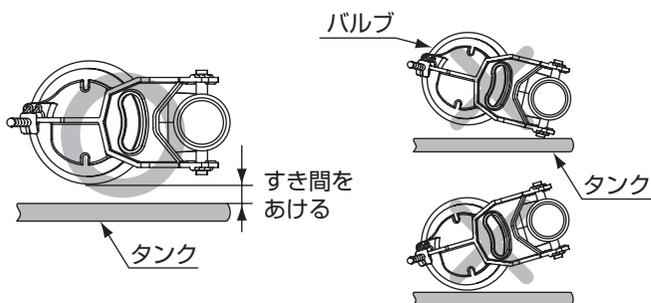
1 給水管内の掃除

取り付ける前に **必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

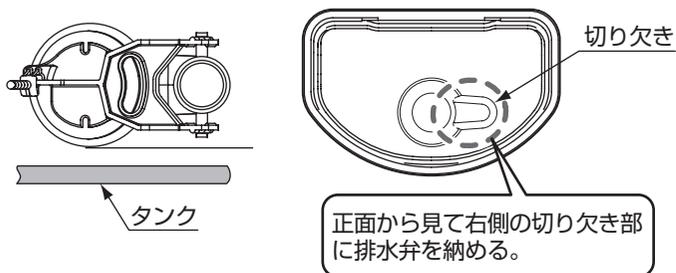
重要

2 排水弁の取り付け

バルブの着脱ができるようにすき間を確保してください。



正面から見て右側に排水弁が納まっていることを確認してください。



注意

右給水の場合

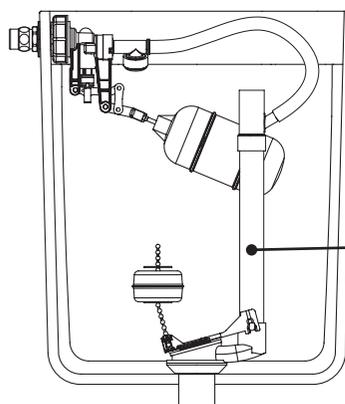
ボールタップは右側取り付けです。

必ず実行

排水弁は左給水と右給水とも取付方向は同じです。

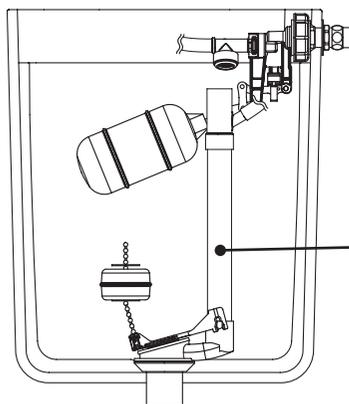
タンク防露層下面部は切り取らないでください。

左給水の場合



排水弁は必ず右側

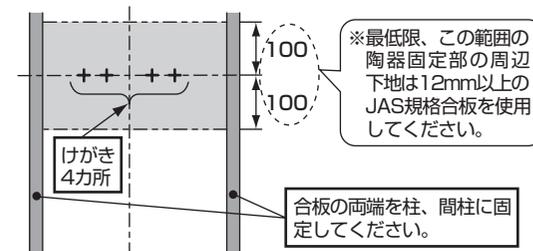
右給水の場合



排水弁は必ず右側

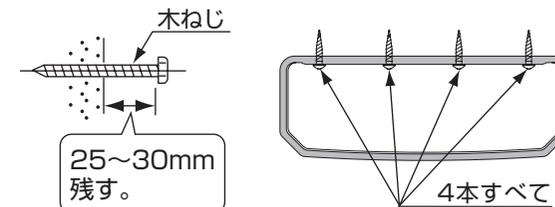
3 タンクの取り付け

①タンク穴にあわせて木ねじの位置をけがいてください。



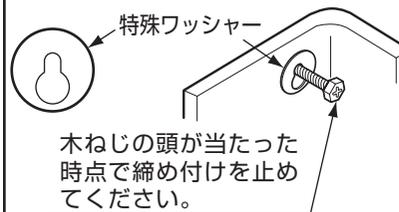
※上記は最低工法です。推奨は壁一面合板です。

②木ねじをねじ込み、25~30mm残してください。



※樹脂プラグを使用する場合でも25~30mm残してください。

③タンクを引っ掛けて特殊ワッシャーをセットし、木ねじをねじ込み、**木ねじの頭が当たった時点で締め付けを止めてください。**



注意

木ねじを強く締め付け過ぎるとタンクが割れることがあります。

注意

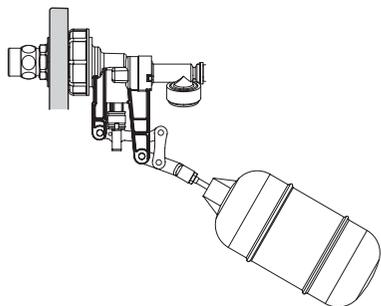
- 取り付け強度を保つため、下地に12mm以上のJAS規格合板相当を使用する
- 合板は両端を柱、間柱などの建築の躯体にしっかり固定する

必ず実行

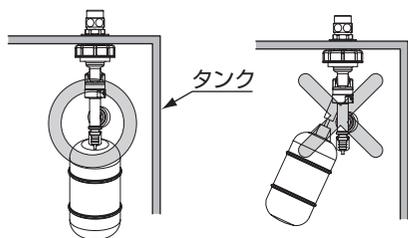
陶器が落下し、けがをしたり、家財を破損させたり、水漏れの原因になります。

4 ボールタップの取り付け

浮玉が真下に下りるように正しく取り付けてください。



<真上から見た取り付け状態>



必ず実行

ボールタップを斜めに取り付けるとボールタップの浮玉と防露層が干渉し吐水不良や止水不良の原因となります。

5 補助水管の接続

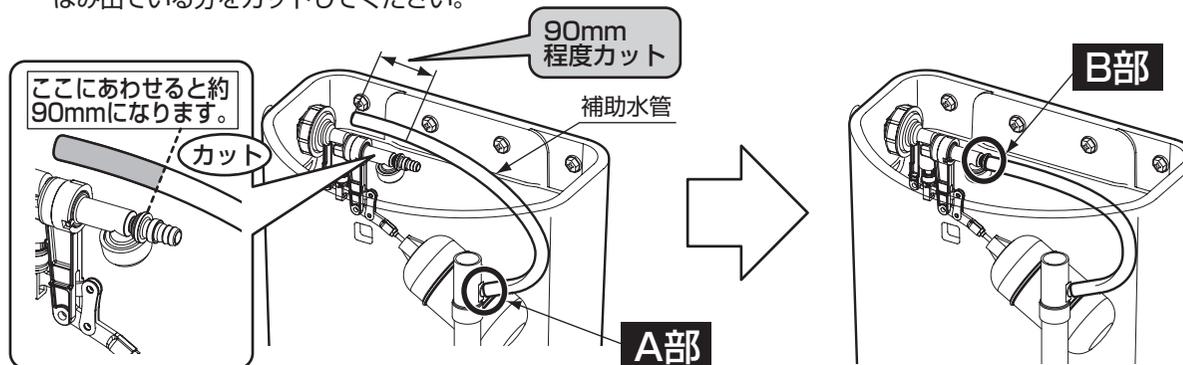
※補助水管は、必ず差し込みの方向性を守り、確実に差し込んでください。また、補助水管はつぶれたり、折れたりしないようご注意ください。

左給水の場合

※左給水の場合は補助水管を90mm程度カット願います。

①補助水管をA部に差し込み、長さを確認し、はみ出ている分をカットしてください。

②カットした方の補助水管をB部に差し込んでください。



注意

補助水管の取付方向にご注意ください。

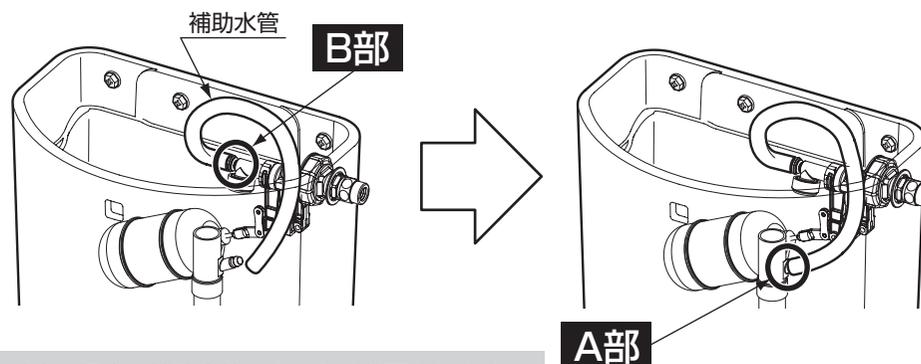


右給水の場合

※補助水管の方向性が左給水と逆になるのでご注意ください。

①補助水管をB部に差し込んでください。

②補助水管はボールタップの上からA部に差し込んでください。



注意

補助水管の取付方向にご注意ください。



必ず実行

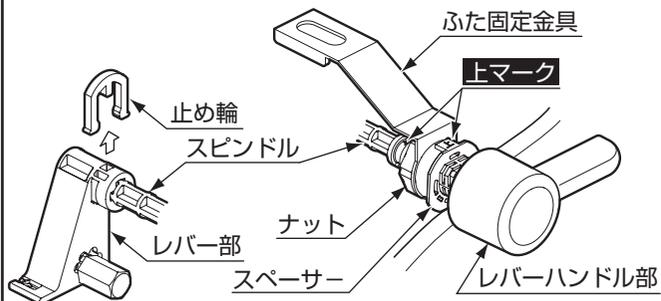
補助水管の取付方向を逆に差し込んだ場合、レバーハンドルに補助水管が接触し、レバーが傾いたり、レバー操作が重くなる原因になります。

※右給水の場合、補助水管のカットは必要ありません。

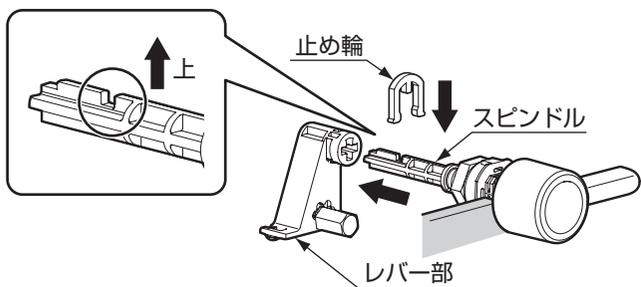
6 レバーハンドルの取り付け

① 止め輪を上引き抜き、レバー部およびナット・スペーサーをスピンドルから外し、レバーハンドル部をロータンスクのレバー取付穴に差し込んでください。スペーサー・ふた固定金具の順ではめ、ナットで締め付けてください。そのとき、レバーハンドル部の上マークとスペーサーの上マークが必ず真上になるようにしてください。

ゆるみ防止のために手で強くねじ込んだあと、1/3～1/2回転増し締めしてください。(目安400N・cm)



② レバー部を十字の穴のある側からスピンドルに差し込み、止め輪を下図の位置に差し込みロックします。



注意

レバー部のスピンドルへの差し込み位置が間違っていると、止め輪が確実にロックできず、レバー部が引き抜けてしまいます。



止め輪は確実にロックしてください。

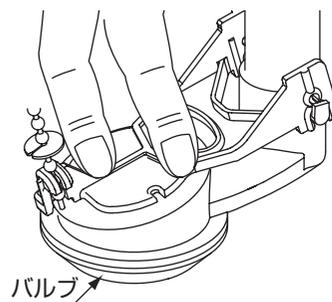
必ず実行

7 玉鎖の取り付け

① バルブを軽く押さえてください。

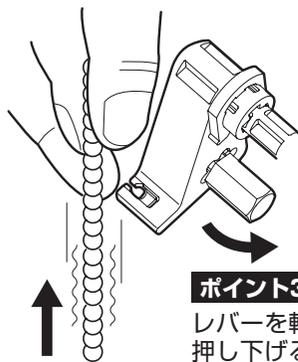
ポイント1

バルブを浮かさないように軽く押さえる。



② 玉鎖をピンと張ってください。

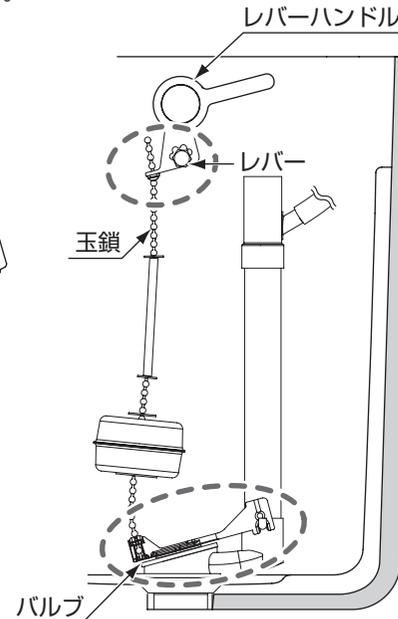
③ レバーを軽く押し下げてください。



ポイント2

玉鎖をピンと張る。

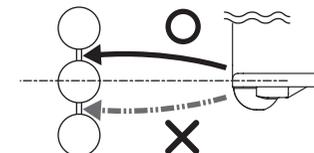
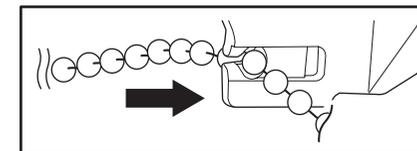
ポイント3
レバーを軽く押し下げる。



④ 玉鎖を奥まで入れてください。

ポイント4

玉鎖をスリットに奥まで入れる。



上図位置になった場合は上側に差し込む。

【玉鎖の長さ調整とレバーの傾き】

- ・排水弁が上がらない程度に玉鎖を張った状態でスリットに差し込む。(レバー部スリットに差し込むことで適度(約1~2玉)にたるみます。)
- ・玉鎖がたるみ過ぎたり、張り過ぎたりしていないこと。

玉鎖の長さ調整

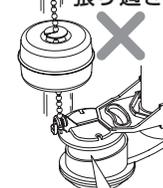


たるみ過ぎ



ハンドルを回しても弁が開かず洗浄しない。

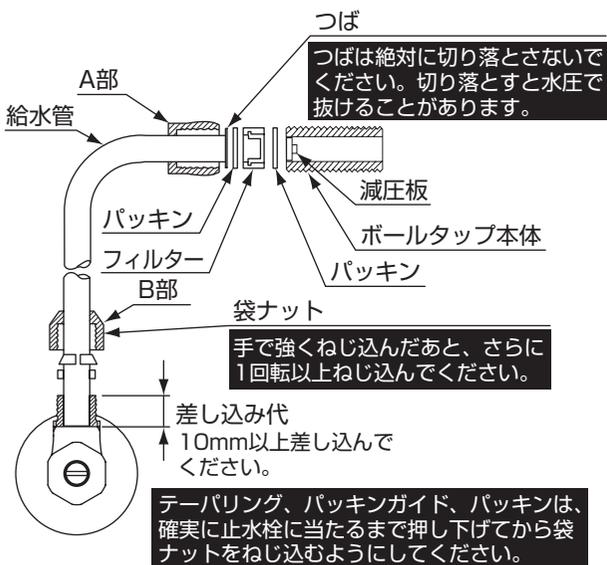
張り過ぎ



弁が開いていて止水しない。

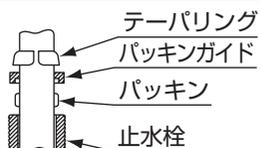
8 ボールタップと止水栓の接続（新築または新設の場合）

A部を先に固定したあと、B部を固定してください。



注意

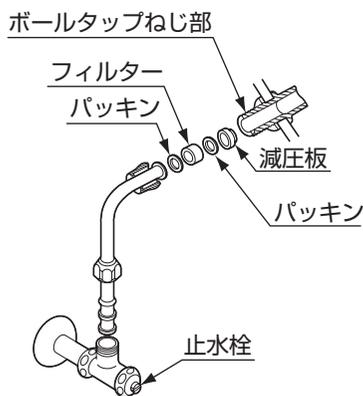
※テーパリング・パッキンガイド・パッキンの順番・向きを間違えないでください。



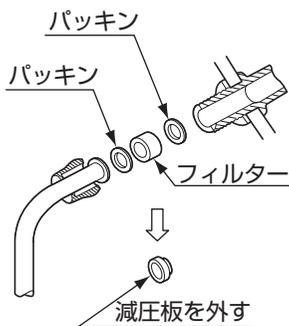
減圧板の取り扱い

水圧が低く（0.1MPa以下）、タンク貯水に時間がかかり過ぎる場合は減圧板を外してください。

〔減圧板をセットする場合〕



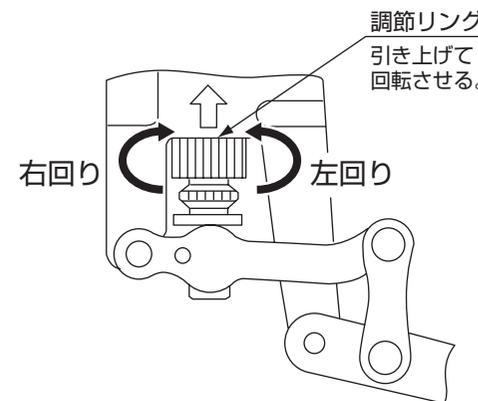
〔減圧板をセットしない場合〕



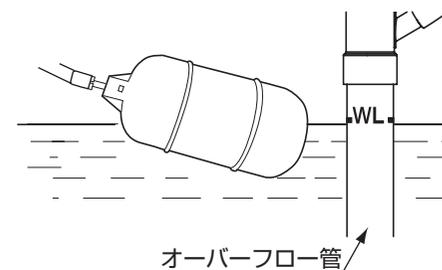
9 水位の調節

タンクの止水位がオーバーフロー管のWL（標準水位）に合うように、次の要領で調節してください。

- ①調節リングを引き上げて回すと止水位を上下させることができます。そのとき、浮玉を軽く手で押さえておくとスムーズに回ります。90°回すと約8mm水位が変わります。
 - ・上から見て右回し・・・止水位が上がります。
 - ・上から見て左回し・・・止水位下がります。
- ②調節が終わったら調節リングを引き下げて確実にロックしてください。



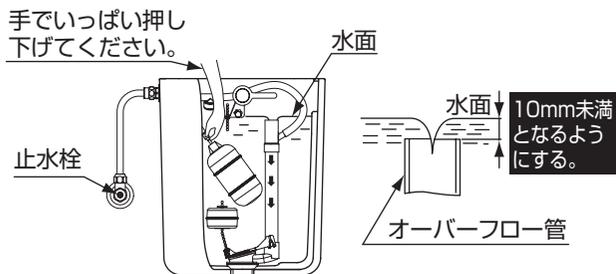
※洗浄不良防止のため、止水位は確実にあわせてください。



10 止水栓の調節とレバー傾きの確認と調整

1. 止水栓の調節

浮玉を押し下げて、止水栓を徐々に開いてください。この状態で水面がオーバーフロー管より10mm以上上昇しない程度に止水栓の開きを調節してください。この調節をしておけば、万一ボールタップが故障しても、タンクの水が外にあふれることはありませんし、給水音も低くなります。



止水栓のない場合は、他の水栓の吐水量に支障のない程度に元バルブを絞ってください。

2. レバーの傾き確認と調整方法

玉鎖のセット状態によっては、レバーが傾きますので、玉鎖の調整をしてください。

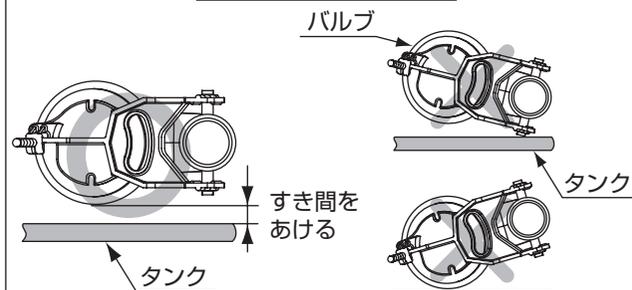
レバーの傾き	ほぼ水平	下向きぎみ	上向きぎみ
玉鎖の長さ調整	玉鎖の長さを適切に調整してください。	たるみ過ぎ ハンドルを回しても弁が開かず洗浄しない。	張り過ぎ 弁が開いていて止水しない。

11 取り付け完了後の確認

2~3度操作して、ボールタップの浮玉が干渉しないことや水漏れなどの異常がないことを確認してください。



排水弁の取り付け



※詳細は、「2 排水弁の取り付け」を参照してください。

12 タンクふたの取り付け

※水位などの調節後に行ってください。

- ①ふた固定金具にボルトをロックナットで固定してください。このときふたの穴にボルトが入るように位置あわせをしてください。
- ②ワッシャー、パッキンをロックナットの上に乗せてからタンクのふたをボルトに通し、化粧ナットで締め付けてください。

